

## 一般市民向け環境教育・調査企画の自然しらべ

公益財団法人日本自然保護協会  
教育普及部

### 1. 自然しらべとは

自然しらべは、子どもから大人まで誰でもが参加できる、全国一斉の市民参加型の環境教育プログラムです。身近な場所の自然をしらべることによって、生物多様性を感じ、自然の大切さを知る機会を提供するという教育的な側面を重視して（目的として）、必ずしも調査データの収集を重視しているものではありません。

日頃の自然しらべの参加者の半数は、実施期間中に新聞紙面や誌面協賛雑誌の記事と広告を見て、参加を希望された「生きもの調査に初めて参加した一般の方」です。残りの半数が当会の会員の皆さまや自然観察指導員が主催する自然観察会の参加者です。

このような一般の方の参加を中心とした調査でも、対象物の写真を撮り、調査票に添付して報告していただくことで、具体的な証拠を得ることができるため、科学的な調査としての精度は高く、他の一般的な自然調査に引けを取らない成果が得られています。

全国から集まった調査結果は「今の日本の現状を知るための貴重なデータ」として利用され、報告書等にまとめ、環境の変化が読みとれれば、新聞紙面等を利用して社会に警鐘を鳴らします。

### 2. データの集計・公表方法

全国各地の参加者の皆さまからお寄せいただいた情報は、学術協力者（専門家）からの協力を得てすべて情報のチェックをして情報を解析します。集まった記録からわかることがあれば、それをまとめて「会報」、「結果レポート」などの当会の発行物をはじめとして「生きもの情報館」や「事務局日誌ブログ」など当会の Web サイトでも公開致します。

また、調査期間中、集計状況などの最新の情報は、速報性の高い当会のブログなどのメディアで報告・速報していきます。情報をお送りくださった方には、翌年の1～3月に全国からの様子を伝える結果レポートと、郵送物に同封して見つけてくださった生きものの種名をお伝えしてご報告します。

### 3. 参加のお誘い

群馬県内で自然にご関心をお持ちの方や既に自然保護活動にお取り組みの皆さまも、「誰でもが参加できる年に一度の全国一斉自然保護ボランティア活動」として、お誘い合わせのうえ、当企画にご参加・お取り組みをお願い致します。

2014年度の企画は現在検討中で、テーマとなる生きものは3月上旬に発表予定です。

以上

#### 4. 近年の自然しらべ

##### ・自然しらべ2013 日本のカメさがし!

誰もが身近な公園の池や川で観察できるカメは、水辺の自然の状態を知るための手掛かりとなる生きものです。今回は8,347匹のカメの情報のうち、記録写真からカメの種類が確認できた5,056匹のデータを用いて集計・解析を行いました。



##### ・自然しらべ2012 貝がらさがし!

身近な海辺で簡単に探せる貝がらは、埋立てや護岸工事などで変化してきた日本の海辺の自然の現状を知る貴重な手がかりとなります。全国から届いた記録は3,700件、調査地点は385カ所となりました。

##### ・自然しらべ2011 チョウの分布 今・昔

誰でも身近な場所で見つけることができるチョウは、地域の自然環境の状態を知る手掛かりとなる生きものです。今年は6000件を超える記録から140種類のチョウの情報が寄せられました。



##### ・自然しらべ2010 みんなで夏の川さんぽ

今年で4回目となる川の自然しらべでは、これまでしらべてきた川の様子に加えて、昔から川原でくらししているハグロトンボなどのムシたちや、新しく海外からやってきたキクイモやミズヒマワリなどの植物（外来種）に注目して、川の変化をとらえました。



##### ・自然しらべ2009 湧水さがし!

湧き水は昔から、飲み水や農作物の栽培に使ったり、酒や織物を作るなど、人々の暮らしに欠かせないものでした。湧き水のようすや、湧き水でみられる生きもの、人の暮らしとのかかわりについて、ご家族や友だちと一緒にしらべ、写真と観察記録を送っていただきました。北海道札幌市から小笠原諸島・母島や南西諸島・沖縄島まで、533件の観察情報が寄せられました。



##### ・自然しらべ2008 カマキリ

カマキリはみんなが知っている昆虫ですが、どこでどんな種類がみられるかがおよそわかっているだけで、くわしい分布やくらししている場所の環境の現状はほとんどわかっていません。日本で初めてのカマキリ全国一斉調査で、カマキリマップをつくりました。

